

# 2023 年度 東京高専後援会総会 議事録

日 時：2023 年 5 月 27 日（土） 13:30 ～ 15:30

場 所：5 棟 2 階 5201 教室

出席者：後援会会員総数 1020 名 出席者 50名 委任者 623名 合計 673名

【会則 第4章 第 15条2 項】により本総会が成立】により本総会が成立

## 1. 開会の辞

水野副会長

## 2. 顧問挨拶

谷合校長

谷合校長から後援会の貢献に対し感謝すると共に、今後も引き続き厚い支援をお願いしたいとお話があった。今年もコロナも一段落し全ての学校行事をコロナ前に戻していく。

そして「社会実装教育センター」の創設を発表した。「学ぶ+実践」をリードする東京高専ならではの取り組みに更に力が入られることなる。6 棟に東日本最大級の3Dプリンターがすでに設置されていて後期から学生は使えるようになる。

また、「起業家工房」も新しい取り組みとして紹介があった。これは 7 棟で放課後など、誰もが自由にもものづくりができるスペースである。現在改修工事中で、こちらは来年度からのスタートとなる。

## 3. 議長選出：立候補者がなく、会議運営に関する細則 第4条4項により、副会長（代行）

が議長を指名した。議長 5J 高野さん

## 4. 議事

### （1）報告事項

- ・ 細則の改定

川田副会長

- ・ 2023年度 運営委員

水野副会長

#### \* 質疑応答

【質問】細則の改定について

後援会に入っていない人はどのくらいいて、その方にはどんな取り扱いをしているのか？（5年理事）

【回答】後援会に非加入者は 1 名。全体的な支援は部活動や卒業式といった支援は行うが個人的な支援はしないということになっている。（川田副会長）

### （2）議案

#### 第 1 号議案 2022 年度事業報告

- ・ 総括・運営委員会

水野副会長

- ・ 卒業記念行事部会

坂本部長

- ・ 学校行事支援 くぬぎだ祭部会

石原部長

- ・ 学校行事支援 チャレンジワーク部会
- 第2号議案 2022年度 決算報告  
第3号議案 2022年度 監査報告

森山部会長  
長谷会計  
佐田監理

4月8日に役員執行監査と会計監査を行い、役員が活動が会則に準拠していること、帳簿ならびに関係書類は記載、処理、保管され残高についても相違ないことの報告があった。

\* 質疑応答

【質問】第2号議案について

今年も予算残額が600万以上あり、それが特別会計に繰り越され毎年高額な金額がたまっていくのは問題なので改善策はあるのであろうか？（5年理事）

【回答】2022年度の収支が3500万円になった原因は予算残額の約600万円とS15の新設により2500万円の予算が思ったより使われなかったからである。しかし、このS15は5年間という期間で使用が考えられているため今後使われていく方向である。

後援会費を下げる要望もあるが、コロナ禍でありながら、執行率は76%であり、今後はさらに活発に活動が行われるであろう状況にある。また、現在の円安、物価高等の様子をみながら最終的な判断をする必要がある。早急に会費変更は考えていない。（長谷会計）

\* 第1号から第3号の議案全てが承認された。

- 第4号議案 2023年度運営役員および監理(案)

水野副会長

\* 質疑応答：なし

\* 第4号の議案が承認された。

- 第5号議案2023年度 事業計画（案）

川田 2023年度会長

- 第6号議案2023年度 予算(案)

竹下 2023年度会計

\* 質疑応答：なし

\* 第5号・第6号の議案が承認された。

## 5. 議長解任

## 6. 新役員代表挨拶

川田 2023年度会長

高専生らしい素晴らしい学生生活が送れるよう支援していきたい。今年はコロナが落ち着き色々な活動が戻ってくるので後援会としてもどんどん支援していきたいと思っている。

後援会の皆様のご協力ご支援が非常に重要なのでよろしくお願いいたします。

2022年度の体制は本日で終わるがコロナ禍で非常に大変な体制だったと思う。2023年度もその体制を引き継ぎつつ、持続可能な後援会にしていきたいと思っている。

7. 連絡事項

新入生歓迎保護者交流会(6/10)があります。参加申し込みは本日締め切り。

8. 閉会の辞

蔭山副会長

以上

記録：2D齋藤、5J細川